

# 感染制御部



感染制御部長  
奥野 博

専門医資格等  
 日本泌尿器科学会専門医・指導医  
 京都大学臨床教授  
 関西医科大学臨床教授  
 日本生殖医学会評議員  
 日本アンドロロジー学会評議員  
 日本癌治療認定医  
 日本臨床腎移植学会腎移植認定医  
 日本内視鏡外科学会技術認定医  
 日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医  
 京都大学医学博士  
 専門分野  
 泌尿器科一般  
 得意疾患  
 前立腺癌  
 男性学  
 感染症学



副部長  
(専任)  
ICTリーダー  
小田垣孝雄

専門医資格等  
 ICD:Infection Control Doctor  
 日本内科学会総合内科専門医/指導医  
 日本化学療法学会抗菌化学療法指導医  
 日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医/指導医  
 日本医師会認定産業医  
 専門分野  
 内科一般、感染制御  
 得意疾患  
 一般内科疾患

## □ スタッフ

平成25年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
副部長	志馬 伸朗	ICD:Infection control doctor 日本感染症学会 感染症専門医 日本化学療法学会 評議員・抗菌化学療法指導医/認定医 日本外科感染症学会 評議員・外科周術期感染管理暫定教育医/認定医 日本版敗血症ガイドライン策定委員 真菌症ガイドライン2014策定委員 肺炎診療ガイドライン策定委員	救急・集中治療	集中治療医学 救急医学 感染症学 麻酔科学
医師	畑 啓昭	ICD:Infection control doctor 外科学会専門医 消化器外科学会専門医 日本外科感染症学会 評議員/教育委員 外科周術期感染管理暫定教育医/認定医	上部消化管外科	胃癌, 食道癌
医師	遠藤 文司	ICD:Infection control doctor 日本内科学会認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本化学療法学会抗菌化学療法認定医 日本医師会認定産業医	胆道・膵疾患における内視鏡検査・治療	胆道・膵疾患
薬剤師 (専任)	朴井 三矢	抗菌化学療法認定薬剤師 感染制御認定薬剤師		

薬剤師	福田 良子	救急認定薬剤師		
副看護師長(専従)	宮地 聡子	ICN:Infection control nurse 感染管理認定看護師		
検査科主任(専任)	福田 修			
経営企画室長	西川 祐史			
事務	諸木 真知			

## □ 診療(業務)内容

平成9年4月に院内感染対策チームが(ICT)設立し、平成22年4月にはICTを核とする感染制御部が発足しました。そのモットーは院内の感染管理と職員の健康管理を通じて、患者さんが安心して診療を受けられる環境を提供することを目標としています。

さらにその使命として医師、看護師、リンクナース、薬剤師、臨床検査技師、事務など多くの職員がそれぞれに得意とする分野を分担し、責任をもってこれを行っています。実務はICTリーダーを中心に週に1回ICTミーティングを行い、さらに週に1回定期的に院内ICTラウンドを実施しています。また日常の感染対策に関する相談に関しても随時対応しています。

活動例)

- ①インフルエンザ、感染性胃腸炎、結核などの院内感染対策業務
- ②手術部位感染、中心静脈カテーテル関連血流感染などのサーベイランス業務
- ③針刺し・切創事故対応業務
- ④職員対象の各種ワクチン接種業務
- ⑤抗菌薬適正使用推進業務
- ⑥その他、院内感染対策に必要とされる業務

この活動内容は病院長直轄の「院内感染対策委員会」(月1回)と平成22年4月に発足した「抗菌薬の適正使用に関する小委員会」(月1回)にて報告・審議・決定がなされるシステムとなっています。

平成24年度には感染防止対策推進に関する診療報酬が改定され、これまで以上に感染対策チーム(ICT)の活動が求められるようになりました。平成26年度の改訂でも大きな変更点はなく継承されています。

\*感染防止対策加算2を算定する当院連携施設:弘仁会大島病院 真和会京都大橋総合病院 NTT西日本京都病院 国立病院機構南京都病院 淀さんせん会金井病院

\*感染防止対策加算1施設を算定している連携医療機関:京都市立病院機構 京都市立病院

## □ 地域医療連携・広報活動

院内感染対策講習会 「隔離対象となる病原性微生物について」 2013年6月17日・7月11日

院内感染対策講習会 「抗菌薬適正使用について」 2013年12月03日

第1回感染防止対策地域連携カンファレンス 「結核院内感染対策について」 2013年6月15日

第2回感染防止対策地域連携カンファレンス 「職員の感染防止について」 2013年9月28日

第3回感染防止対策地域連携カンファレンス 「抗菌薬適正使用について」2013年12月21日

第4回感染防止対策地域連携カンファレンス 「平成25年度感染防止対策総括」 2014年2月22日

感染防止対策地域連携加算相互評価:京都市立病院 2013年11月8日・11月28日

感染防止対策研修会・院内ラウンド:宇多野病院 2014年1月20日

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区 分	演 者・演 題・学 会 名
院内講習会	「今さら聞けない、細菌のあれこれ」 福田修 2013年6月17日・7月11日
院内講習会	「多剤耐性菌対策の臨床的意義」 小田垣孝雄 2013年6月17日・7月11日
院内講習会	「当院の抗菌薬使用状況」 朴井三矢 2013年12月3日
院内講習会	「当院の耐性菌検出状況」 福田修 2013年12月3日
院内講習会	「当院の抗菌薬適正使用の取り組み」 小田垣孝雄 2013年12月3日
地域連携 カンファレンス	「病院職員のワクチン接種～京都医療センターの場合～」 小田垣孝雄 2013年9月28日
地域連携 カンファレンス	「ICTにおける薬剤師のかかわり」 福田良子 2013年12月21日
地域連携 カンファレンス	「検査技師からみた抗菌薬適正使用について」 福田修 2013年12月21日
地域連携 カンファレンス	「ICDからみた抗菌薬適正使用推進活動」 遠藤文司 2013年12月21日
学会発表 (ワシントンD.C.)	A randomized, Multicenter, Open-Label Phase III Trial of Oral and Parenteral vs. Parenteral Antibiotic Prophylaxis in Elective Laparoscopic Colorectal Surgery: The Japan-Multinational Trial Organization PREV 07-01 American college of surgeon, clinical congress, Oct 6-10, 2013, Washington, DC 畑啓昭
学会発表 (神戸)	教育委員会企画プログラム 創傷管理の標準化 パネリスト 畑啓昭 2013年11月25日 日本外科感染症学会

□ 受賞(学会・研究発表 など)

内 容
第67回国立病院総合医学会 平成25年度国立病院機構QC活動成果発表 全国最優秀賞 「医療情報検索ソフトと電子カルテのICTアカウントを活用した抗菌薬適正使用の推進」小田垣孝雄 2013年11月08日

□ 投稿論文など

著 者	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No	page	編集者 等	出版社	発行年 および月
Sakaguchi M, Shime N, Iguchi N, Kobayashi A, Takada K, Morrow LE.	Effects of adherence to ventilator-associated pneumonia treatment guidelines on clinical outcomes.	J Clin Endocrinol Metab.	19	4	599-606			2013
志馬 伸朗	特集:感染症診療のポイント	救急医学	38	2				2014
志馬 伸朗	ICU 患者の抗菌療法において初期経験的治療の適切性は予後に影響するか?	臨床に直結する集中治療のエビデンス			387-392	讃井将満 編著	文光堂	2013
志馬 伸朗	日本版敗血症診療ガイドライン一般社団法人日本集中治療医学会 sepsis registry委員会	日集中医誌	20		124-73		克誠堂出版	2013
志馬 伸朗	深在性真菌症の診断	治療ガイドライン2014			158-172	深在性真菌症のガイドライン作成委員会	協和企画	2014
志馬 伸朗	De-escalationは真に遂行可能か	敗血症治療:一刻を争う現場での疑問に答える			114-119		羊土社	2014
尾内一信, 志馬伸朗, 平井克樹, 荒畑幸絵, 櫻井淑男, 吉本 昭, 国貞佳世	小児呼吸器感染症ガイドライン2007上の最重症肺炎に対するわが国小児集中治療領域における注射用抗菌薬使用状況	小児感染免疫		24	443-449			2013
志馬伸朗, 篠原貴子, 重見研司	敗血症の認知度調査	日集中医誌	20		667-70			2013
笠井正志, 志馬伸朗, 齋藤昭彦, 船木孝則, 庄司健介, 宮入烈	本邦複数の小児医療施設における血液培養採取量と検出率に関する観察研究	感染症学雑誌	87	5	620-623			2013
志馬伸朗, 羽鳥文麿, 氏家良人, 日本集中治療医学会小児集中治療委員会	日本での小児重症敗血症診療に関する合意意見	日集中医誌	21		67-88			2014
松田直之, 織田成人, 相引眞幸, 池田寿昭, 今泉均, 遠藤重厚, 落合亮一, 小谷穠治, 志馬伸朗, 西田修, 野口隆之, 平澤博之	日本集中治療医学会Sepsis Registry委員会日本集中治療医学会第1回Sepsis Registry調査 2007年の重症敗血症および敗血症性ショックの診療結果報告	日集中医誌	20		329-34			2013

志馬 伸朗	ライン関連感染を回避するために麻酔科医ができること～小さな心配りの積み重ねがプロの証	LiSA	20		438-443			2013
志馬 伸朗	日本版敗血症診療ガイドラインの解説 抗菌薬治療のポイントを中心に	Pharma Medica	31		109-115			2013
志馬 伸朗	呼吸器感染症/肺炎/人工呼吸器関連肺炎(VAP)	日本臨床(別冊感染症症候群(第2版)[下]-症候群から感染性単一疾患までを含めて-)			187-191			2013
志馬 伸朗	Antimicrobial therapy	救急医学	37	11	1450-56			2013
志馬 伸朗	人工呼吸器関連肺炎(VAP)の診断と治療	Medicina	50	12	1986-1990			2013
志馬 伸朗	人工呼吸器関連肺炎対策	日本外科感染症学会雑誌	10	2	225-31			2013
徳平 夏子, 志馬 伸朗	重症インフルエンザ感染:インフルエンザ関連肺炎の診断治療を中心に	小児内科	45	11	1994-1998			2013
笠井 正志, 志馬 伸朗	小児重症感染症へのアプローチ	ICUとCCU	37	12	921-7			2013
志馬 伸朗	人工呼吸器関連肺炎(VAP)	日本臨床 別冊感染症症候群(下)			187-191			2013
志馬 伸朗	暴れ馬で流鏑馬は可能か～小児集中治療患者での薬物動態解析によるバンコマイシン治療	日集中医誌	20	4	561-3			2013
志馬 伸朗	外科・救急領域における深在性真菌症の診断と治療・侵襲性カンジダ症の危険因子と診断	感染症道場	3	1	63-65			2014
志馬 伸朗	わからないものを受け入れ, 解決すること～カテーテル挿入時消毒薬の選択	日集中医誌	21		65-66			2014
長谷川 隆一, 志馬 伸朗	人工呼吸器関連肺炎(ventilator-associated pneumonia, VAP)はゼロにできるか?	日集中医誌	21		9-16			2014
志馬 伸朗	プレホスピタルにおける敗血症	救急医学	38	2	236-8			2014
志馬 伸朗	麻酔科医が行う周術期感染予防	麻酔	63	3	269-277			2014